

希望の車いす

ニュースレター

No.4 2007年10月15日

～ 世界におくろく 愛と 希望の車いす ～

モンゴル旅行記「113台の車いすの行方」

5月25日から6月1日まで、保守バプテスト同盟との関係があるCBジャパン主催のモンゴル宣教ツアーに夫婦で参加しました。今年の8月に「希望の車いす」より、113台の車いすと空気入れ、ワゴンなどが大きなコンテナでモンゴルに送られました。その後どのような利用状況にあるのか、どのようなニーズがあるのかを確認できればと思って参加しました。

モンゴルは、かつて世界最大の統治をした民族であり、歴史のある国ですが、15年前に扉が開かれ、今は新しい国づくりの真っ最中でした。日本の明治維新のような状況です。数年前に低温被害で放牧していた家畜が全滅したりして、生活の基盤を失った人々が地方からウランバートルに移ってきて、急速な都市化が進み、失業率50%等と多くの課題を抱えています。そのような中、若い人々が多くクリスチャンへと導かれています。モンゴルでは神様の導きの中で各国から遣わされてきた多くのクリスチャンワーカーはNGOのJCS(ジョイント・クリスチャン・サービス)に参加しています。JCSでは、医療・教育・農業・建築・スポーツ・経済支援など60以上のプロジェクトを実践し、大きな働きと成果を得ています。モンゴル政府からも大きな信頼を得て、良い働きをしています。

今回送られた車いすは、JCSを通してプレゼントされました。私たちがJCSの事務所を訪問したときは、最後の一台が残っているだけでその一台も次の週には

届けられるとのことでした。私たちは、JCSの事務所で行った概要を聞き、モンゴル国内で国立としては唯一の障害児施設を訪問しました。ここでは、障害児を持った子ども達が収容されているので、特注の車いすがとても喜ばれていました。国では、肢体の不自由な子ども達や大人がどれくらいいるのか把握されていません。さらに、このような施設は国内に2箇所しかありません。経済的にも厳しい状態で、車椅子を求めることは不可能です。

70代の男性の自宅にも訪問させていただきました。この方は今までは教会に行くにも奥さんに連れて行っていたり、誰かに迎えに来てもらわなければいけませんでした。今では自分で車いすに乗って礼拝に出席できるようになりました。その他、病院、ホスピス病棟、老人施設など訪問することが出来ました。JCSが車いすをプレゼントした際には、市長とも面会でき、良い協力関係が築かれました。

モンゴルは、若い人が多く、将来大きな可能性を持った国です。今の時期に、若い人々が神の愛に触れて、新しい人生を歩みだし、国づくりに率仕できれば素晴らしいと思います。しかし失業率が高く、働かなくても仕事がない状況です。その結果、アルコール依存症が増え、犯罪が多発しています。車椅子を送るだけでなく、トータルな支援が必要ではないかと考えさせられています。今回私たちは、ウランバートルと郊外だけしか回れ

理事
川崎 満



ぼくは 青い車いす。今日はボランティアの方がピカピカにみがいてくれたよ。



ファンランで走ってくれた男の子です。皆の協力で、ぼくがモンゴルに行く費用を集めることが出来たんだ！



モンゴルに着いたよ！今日からはジェレルト君と一緒にニコニコしているの分かる？ バヤルララー！モンゴル車いすのりごと



！メールアドレス変更！
info@k-kurumaisu.org

* 「希望の車いす」NPO法人認証は、現在準備中です。

* 車いすの行き先
7月4日 フィリピン 大人用12台
小児用1台

(フィリピン航空財団
メンチコウさんを通じて送る)
8月20日 バンコク 10台
(キングスチャペル岩園様)
9月20日 ミャンマー 1台
(ミラード様)

フィリピンとの協力

6月末、慈善事業のため来日したフィリピン航空財団の創立者であるメンチャー・サーミエントさんが、13台の車いすをフィリピンに運んでくださいました。メンチャー女史は、フィリピン国内の物質、身体面で様々な必要を抱えている方々の状況をよく把握しておられ福祉活動に優れた貢献をされています。フィリピン航空機で輸送された車椅子は、速やかに各地に必要な方々のもとへ届けられました。アメリカから来日した25人のクリスチャンワーカーと、「希望の車いす」のボランティアの方々の協力できれいになり、整備された13台の車椅子です。

写真をご覧ください。マーロンさんが、車椅子を受け取ったときの喜びようは大変なもので、自力で椅子に登り、何度もPogiポーズ（ピースサイン）をしていたそうです。脳性麻痺による障害を患っています。マーゼリノさんは、糖尿病悪化のために右下肢を失いました。エリザベスさんは脳梗塞を患った方です。お隣のご主人様は、視力障害があり失業中で、お嬢様が3人の生活を支えています。白血病を患っている女の子のお名前は伺っていません。個人の経済状態によって受けられる治療や、医療サービスにかなり差があることを感じました。 マーロンさん(ボランティア)



マーロンさん



エリザベスさん



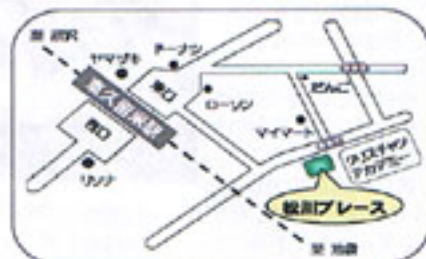
マーゼリノさん

整備、クリーニング ティ!

日時: 11月16日(金)10am~3pm
場所: 松川ブレース 1F

東久留米市 新川町1-2-12 1F 多目的ホール
(西武池袋線 東久留米駅から徒歩2分)

作業用の服をご準備の上、どうぞご参加ください!



当日連絡先 0424-58-8106(事務局)
080-6689-8130(田原)

*** ご協力、ご寄付ありがとうございます ***

バンコク航空様、ピンクベダル自転車店様(市川市)、フィリピン航空財団様、東大和キリスト教会様、久留米キリスト教会様、スタジオクリエーション様、水戸針灸院様、山形聖者キリスト教会様、リバイバルニュースレター様、国分寺バプテスト教会様、クリスチャンアカデミー・イン・ジャパン様、市川友愛教会様、キングスチャペル岩国様、保守バプテスト日本宣教団様(順不同)

*** 会計報告 2007年4/1~2007年9/30 ***

収入		支出	
団体寄付金	561,515	経費	395,766
個人寄付金	121,000	(コンパ輸送費・倉庫代金)	
企業寄付金	0		
集金寄付金	0		
個人会費	0		
団体会費	0		
計	682,515	計	395,766
前月繰越	876,804	次月繰越	1,163,553
合計	1,559,319	合計	1,559,319

希望の車いす

「希望の車いす」の会

発起人: メリー・ペナー
事務局: 〒203-0013 東京都東久留米市新川町 1-2-12-106
Tel/Fax: 047-338-7101
Eメール: info@k-kurumaisu.org
郵便振替: 001803-686314 希望の車いす